

練習問題 5-1 売買目的有価証券

🕒 5分 ➡ 解答 P.21

次の取引の仕訳を行いなさい。(決算年1回 3月31日)

(1) ×1年3月1日、売買目的にて甲社株式¥100,000を小切手を振出して取得した。

-----

(2) ×1年3月15日、売買目的にて乙社株式¥60,000を小切手を振出して取得した。

-----

(3) ×1年3月31日、決算日における甲社株式の時価は¥70,000、乙社株式の時価は¥80,000である。

① 甲社株式

-----

② 乙社株式

-----

練習問題 5-2 売買目的有価証券(切放方式)

🕒 10分 ➡ 解答 P.21

次の資料に基づいて、一連の取引の仕訳を行いなさい。(決算年1回 3月31日)

(1) ×5年8月4日に売買目的としてM社株式¥270,000を取得し、代金は小切手を振出して支払った。

-----

(2) ×6年1月24日に売買目的としてH社株式¥776,000を取得し、代金は小切手を振出して支払った。

-----

(3) ×6年3月31日の決算における必要な決算整理仕訳を切放方式により行う。なお、同日におけるM社株式の時価は¥265,000、H社株式の時価は¥780,000である。

① M社株式

-----

② H社株式

-----

(4) ×6年5月25日にM社株式を¥267,500で売却し、代金は現金で受取った。

-----

-----

練習問題 5-3 売買目的有価証券（洗替方式）

🕒 10分 ➡ 解答 P.22

次の資料に基づいて、一連の取引の仕訳を行いなさい。（決算年1回 3月31日）

- (1) ×5年8月4日に売買目的としてM社株式¥270,000を取得し、代金は小切手を振出して支払った。

-----

- (2) ×6年1月24日に売買目的としてH社株式¥776,000を取得し、代金は小切手を振出して支払った。

-----

- (3) ×6年3月31日の決算における必要な決算整理仕訳を洗替方式により行う。なお、同日におけるM社株式の時価は¥265,000、H社株式の時価は¥780,000である。

① M社株式

-----

② H社株式

-----

- (4) ×6年4月1日に、前期末に計上した評価損益を振戻した。

① M社株式

-----

② H社株式

-----

- (5) ×6年5月25日にM社株式を¥267,500で売却し、代金は現金で受取った。

-----

-----